

カスリーン台風について

原道小学校 5年 野原 咲花



カスリーン台風の概要

観測所	観測時刻	観測地点	観測時刻	観測地点	観測時刻	観測地点
東京	16:45	17:45	18:45	19:45	20:45	21:45
千葉	16:45	17:45	18:45	19:45	20:45	21:45
埼玉	16:45	17:45	18:45	19:45	20:45	21:45
群馬	16:45	17:45	18:45	19:45	20:45	21:45
栃木	16:45	17:45	18:45	19:45	20:45	21:45
合計	360	140	20	734	3475	1192

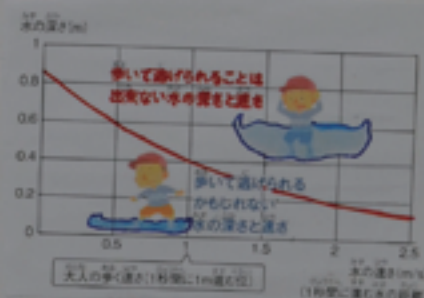
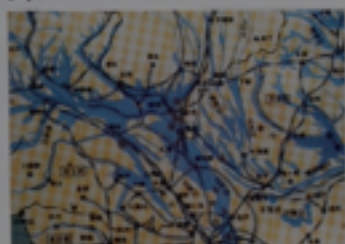
昭和22年9月8日、南オ洋洋上に発生したカスリーン台風は次第に本州へと接近し、9月15日に房総半島南端を通過し、関東・東北地方に多くの被害をもたらした。カスリーン台風発生時、日本列島には秋雨前線が停滞していたため全国的に雨の所が多く、関東地方でもカスリーン台風が来るまで雨、総量で約338mm、狭谷では約610mmという記録的な豪雨となった。このため、カスリーン台風は未曾有の大洪水となり、特に利根川上流域赤城山を中心とする山地一帯は土砂流出がおきたとし、甚大な被害を受けた。※特に利根川の決壊による氾濫は埼玉県下にとどまらず、東京都葛飾区、江戸川区にまで到達し、東京湾へと流れた。

カスリーン台風、どんな台風？

洪水が来ても自分の背より低い水の深さなら、逃げれる！

カスリーン台風は、今から70年前の1947年9月にみんなの住んでる関東地方に近づいて大変な大雨を降らせた台風です。この時利根川の上流の群馬県周辺で降った雨の量は、3日間で338mmでした。これは、1年間に降る大体の雨の量(約1700mm)の約20%分以上の雨が3日間で降ってしまった大雨でした。

流れている水の方ばみんなが思っているよりものすごく強いのです。高さより低い水の深さでも、きょ、水の中を歩くことは出来ないでしょう。それに、洪水は、綺麗な水が流れてくるわけではなくて、色々な汚い物、危険な物と一緒に流れてきます。洪水の中を歩いてフォットのゲカをしただけでも、破傷風(とても怖い病気)に罹る、たう死んでしまうこともあるんです。だから、洪水が来ても来る前に安全な避難所に逃げることを大事なのです。



まとめ

- カスリーン台風に降った雨は、とても多く、大変な雨だったとわかった。
- 埼玉県は、すごい被害を受けたことがわかった。
- 破傷風という病気は、とても怖い病気です。発症後の死亡率は、1般に30%以上だとわかった。

破傷風とは

- 開口障害やけいれいなどの特有な症状が現れる。
- 三種混合ワクチン(ジフテリア破傷風、百日咳)の一つとして実施された。
- 1950年ころは年間数千人いた破傷風患者が、現在では年間50~100人程度にまで減った。